

第48回 人権尊重社会を実現する鳥取市民集会 開催要項

- 1 主催 鳥取市人権教育協議会
- 2 後援 鳥取市・鳥取市教育委員会
朝日新聞鳥取総局・毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局・産経新聞社・山陰中央新報社・新日本海新聞社・中国新聞社・NHK鳥取放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・TSK山陰中央テレビ・テレビ朝日鳥取支局・日本海ケーブルネットワーク・いなばびよんびよんネット・エフエム山陰・FM鳥取
- 3 目的 同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを目的に市民集会を開催する。
- 4 主題 「すべての市民の人権が尊重される鳥取市を創造しよう」
～互いに気付き、支え合える地域づくりを～
- 5 日時 令和4年10月7日（金） 13:00（受付12:30）～16:45
- 6 会場 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700

時間	会名等		会場名	参加予定者数	
13:00～14:40	開会行事・全体会（講演）・諸連絡		とりぎん文化会館 梨花ホール（1,2階で1,610席）	600人	
15:00～16:45	※関心のあるテーマの分科会にご参加ください。	1	子どもの人権	とりぎん文化会館 第2会議室（108席）	50人
		2	男女共同参画	とりぎん文化会館 第4会議室（63席）	30人
		3	同和問題（部落差別）	とりぎん文化会館 第1会議室（199席）	90人
		4	障がいのある人の人権	とりぎん文化会館 展示室（90席）	45人
		5	地域における人権の取り組み	とりぎん文化会館 梨花ホール（1階のみ、500席）	250人
		6	企業における人権の取り組み	とりぎん文化会館 小ホール（452席）	150人
		7	特別分科会	とりぎん文化会館 リハーサル室（60席）	30人

7 日程

12:30	13:00	13:10	14:40	15:00	16:45
受付	開会行事	全体会（講演）	諸連絡・移動	分科会（7会場に分かれる）	

8 全体会【講演】

演題：「ヤングケアラーとしての人生 ～支援の方法を考える～」

講師：一般社団法人ヤングケアラー協会代表 宮崎 成悟 さん

新型コロナウイルス感染症予防のためのお願い

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、次に該当する方は参加を見合わせていただきますようお願いいたします。

- ・37.5℃以上の発熱や風邪症状（咽頭痛、咳、くしゃみ、鼻水）がある場合や体調がすぐれない場合
- ・基礎疾患があり、感染リスクを心配される方
- ・外国から入国・帰国した方で厚生労働省が定める待機期間を経過していない人

※マスクの着用をお願いいたします。入場時の検温、手指消毒にご協力ください。

※参加の際は、厚生労働省ウェブサイトから接触確認アプリ（COCOA）の利用をお勧めします。

○厚生労働省ウェブサイト



9 分科会の概要

※関心のあるテーマの分科会にご参加ください。

	分科会	分科会のテーマ・内容	分科会の講師 など	会場
1	子どもの人権	<p>子どもたち一人ひとりの人権が守られ、自分らしく生きることができるために、学校・家庭・地域で、私たちができることは何か。</p> <p>子どもの虐待が起きる背景には、しんどさを抱え、孤立してしまう親の姿が見えてくる。何が親のしんどさを孤立する状況をつくっているのか、その要因を探り、安心して「助けて」と言える社会をつくるために、私たちにできることについて考えます。</p>	<p>【ワークショップ】 演題「児童・子どもの虐待について考える」</p> <p>講師：北野 真由美さん (NPO法人えんばわめんと界/ES代表理事)</p>	とりぎん文化会館 第2会議室
2	男女共同参画	<p>地方地域におけるジェンダー平等について、ドイツの現状や事例からみえてくる課題を考える。</p> <p>ドイツでは、「男性」「女性」に加え、第3の性としてその他や多様を意味する「ディバーズ (divers)」を認めるなど多様な性のあり方についての取組が進んでいるものの、地域によって格差がある。ドイツの地方地域でのジェンダー平等の現状や事例を通じて、地方地域におけるジェンダー平等について考えます。</p>	<p>【講演・ディスカッション】 演題「地方地域におけるジェンダー平等を推進する教育や活動について考える」 ～ドイツの事例から～</p> <p>講師：シュターク アンナマリーさん (鳥取市文化交流課国際交流員)</p>	とりぎん文化会館 第4会議室
3	同和問題 (部落差別)	<p>取り組みの立脚点は差別の現実 -問われているその基本認識-</p> <p>差別問題の取組の立脚点は差別の現実の存在。しかし、そのスタートラインたる「差別の現実」への理解はなかなか共有されにくい。そこから取組に対する無理解や時には否定さえ生まれる。なぜそうなってしまうのか。部落問題を取り上げて、差別の現実認識に関わる基礎基本を改めて考えます。</p>	<p>【講演】 演題「差別の現実学ぶ」 -その意味するところを改めて考えてみる-</p> <p>講師：奥田 均さん (近畿大学名誉教授)</p>	とりぎん文化会館 第1会議室
4	障がいのある人の人権	<p>「障がい者とスポーツの世界」 障がい者スポーツ競技を知ろう。</p> <p>手足の筋肉が衰える進行性の難病「封入体筋炎」を患いながら、馬術競技でパラリンピック出場を目指している講師を招き、人は目標や夢に向かってチャレンジしていくことで、生き生きと充実した人生を送ることができることなど、経験をもとに講演いただきます。</p>	<p>【講演】 演題「ピンチをチャンスへ 夢の実現へ向かって生きる」 -パラ馬術競技へのチャレンジを通して-</p> <p>講師：大川 順一郎さん (パラ馬術競技選手)</p>	とりぎん文化会館 展示室 ※展示室は机のない、椅子のみの会場となります。
5	地域における人権の取り組み	<p>地域社会における人権教育・啓発をどのように進めるか。</p> <p>・私たちが生活している地域社会で、一人ひとりが人権について考え、学習していく機会をどう築いていくか。また、どう啓発していくか。 ・各地区同和教育推進協議会等における、様々な人権課題に対する取り組みと課題について、研究討議を行います。</p>	<p>【実践報告】 報告者：米谷 信夫さん (醇風地区人権啓発推進協議会会長) 報告者：西浦 日出夫さん (湖南地区同和教育推進協議会会長)</p> <p>【研究討議】 助言者：本庄 大志さん (鳥取県教育委員会事務局人権教育課) 助言者：佐藤 淳子さん (鳥取県人権教育アドバイザー)</p>	とりぎん文化会館 梨花ホール
6	企業における人権	<p>職場における人権問題について、今の働き方に問題はないのか、職場に起こりやすい問題とは。</p> <p>複雑になった現代社会、誰もが多くのストレスを抱える時代となりメンタル不調者は増加しています。職場で不調者が出た時の対応法、自分のところを守るストレス軽減法などをお話します。</p> <p>・メンタル不調が疑われる方への対応方法 ・何がメンタル不調の増加を招いているか？ ・セルフケアで、ストレスを軽減させる方法</p>	<p>【講演】 演題「人権に配慮した職場のメンタルヘルス対策」</p> <p>講師：松田 寿一さん (カウンセリングルーム たいよう)</p>	とりぎん文化会館 小ホール
7	特別分科会	<p>地域社会における「助け合いの重要性」について考える。</p> <p>そこに暮らす人々の人権が守られた地域社会とするために、カードゲームを通して助ける、助けられるということを実体験し、「なぜ、いま助け合いが必要なのか」について考えます。</p>	<p>演題「みんなで作る地域の助け合い」 ①地域でのつながり、助け合いに関するお話 ②「助け合い体験ゲーム」の体験 ③ミニワーク「地域づくりの意見交換」</p> <p>ファシリテーター：高橋 望さん (公益財団法人 さわやか福祉団)</p>	とりぎん文化会館 リハーサル室